

雌 牛 陷 落

R-18





クク...クク...
本当に淫靡な声で
啼くようになったなあ
イーノック...

ハルハルハルハル
ハルハルハルハル

あ...あ...あ...
あ...あ...あ...
あ...あ...あ...

はあ...あ...あ...
はあ...あ...あ...

ハルハル



身体もすっかり
冥界の奴隷雌牛らしく
なつてくれて嬉しひよ。
絶え間なく
穴という穴を犯し続けた
甲斐があったといふものだ。

んあ...
あ...あ...あ...
あ...あ...あ...

ハルハル

ハルハル



じゃあそろそろ...
その可愛らしい姿を
ルシフェルにも
お披露目しようじゃなごか。



やあ、ルシフェル。
どうだ？
私のかおんち
イーノツクの姿は…

…「私の」…

ああ。
ずっとイーノツクを
もつと近くで見たいの。
手に入れたいと
思っていてね。

こんな清らかな魂を
見たことがないからな。
小娘を追って
自ら冥界に来てくれたんだ。
こんなに嬉しうんとはなさ。

冥界の魔物たち総出で
歓迎してあげたよ。

何千…何万…
いったいどれほどの数の
魔物と私に抱かれたか…
もう覚えていないなあ。

最後まで
お前の名を呼んで
助けを求めていたよ。
ルシフェル。

ルシフェル

たすけて
ルシフェル



そうして...おつやぐ
間に染まり
冥界の雌牛奴隷に
なつてくれたと
いうわけさ。

どらだ?
この淫らで
可愛らしい姿は...

はあ...
あ...

お...
お...

お...
お...

お...
お...

お...
お...

お...
お...

おつと失礼。
先ほどまで散々
アナルに注いでいた
子種汁が
溢れてしまったなあ。



お前にも
見せてやるわ。
異界のモノになった
イーノックの
痴態をな。

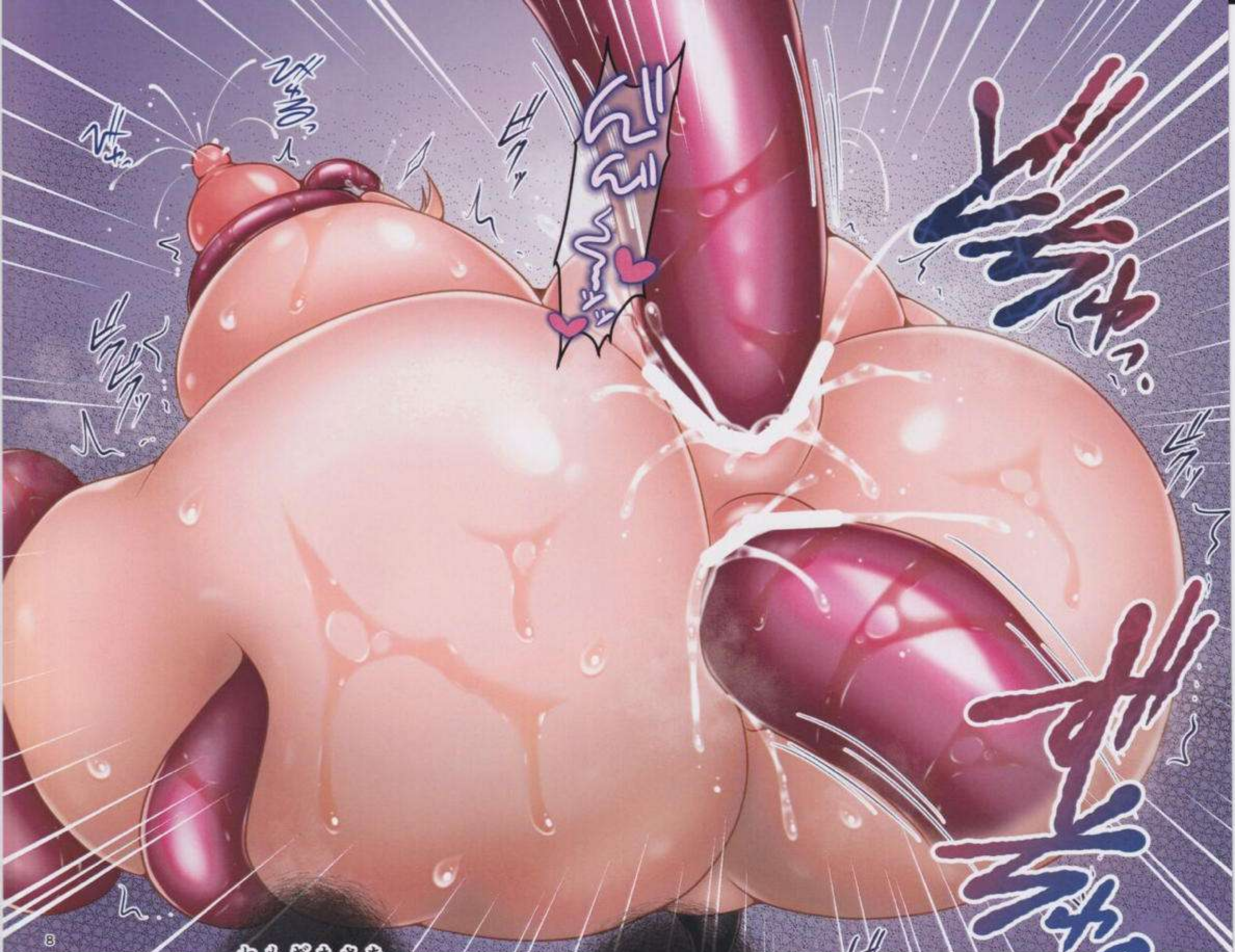
あは
あは

四六時中、
全身の穴に
私の精を流し込み続け、
淫紋もすっかり定着
したよ。

今では常にミルクや愛液を
溢れさせて、発情しっぱなしだ。
自ら男根を求める淫乱雌牛に
仕上がったさ。

ほら、早く早くと
犯してほしくてたまらなくなっちゃった
声や腰つきをしてるなあ、
よしよし、今からたっぷりと
食べさせてやるなあ、イーノック。





ドクッ

ドクッ

ドクッ

ドクッ



ああ... さっき出した子種汁が まだ残っているとらうのだから りんぎゅん締め付けて もっと欲しさとねだってさるよ。

クッククッ... イーノックは 全部の穴を 一度に責められるのが 本当に好きだなあ...

んむんむん

ドクッ

ドクッ

ドクッ

ドクッ

ドクッ

そういうのは
ルシフェル、
お前は
神の許可がないと
私に干渉できない
らしいな？

そこでそのまま
イーノックが
乱れ狂う様を
見ているが
いさ。

ルシフェル...?

よおし、ルシフェル...
今日も存分に搾乳してやるよ...
私の可愛い雌牛、イーノック...

イーノックを穿ってやるよ。
ミルクの出がよくなるんだよ。
それにこのミルクを飲めば
精がついて
半永久的に犯し続けられる。

それに私は
優しいからな…
独り占めせずに
冥界の者たち全てに
イーノックを分け与えて
やっているのさ。

我々の
精処理玩具として
よく尽くして
くれてらるよ。

天界でも、さぞ
多くの天使に抱かれて
きたのだからなあ？

…天界で
そんなことをさせるはずが
ないだろう。
イーノックはずっと
書記官として
働いてきた。

書記官だど？

なんと！
こんなに豊富な
身体を持つヒトを
召し上げておきながら
ただの書記官とは！

神も天使も、
天界の奴らは
皆揃って
不能のようだな！

あは…あ…

…天界……？

では、イーノックは
お前専用の
肉穴だったのか?
ルシフェル……

ルシ……フェル……
ルシフェル……?

ぬっ
ぬっ



ほっ



……ツ?! いやあッ……
何……コレ……?
私に……入って……ツ?!

……
……
……
……

まあ……
愛するルシフェルの前で
私の精に溺れ
再び堕ちるがら……



イーノック!!

おや……どうした……?
闇の力を破ったか……?

ほあ
みん
ぢゃん

……

いやああ…ッ…
ひどい…ッ…こんな格好…
ルシフェルに見られてるのに…
こんな…こと…ッ…

あほ

あほ

あほ

ひゅあぁあ

ルシフェル…見ちやダメえ…ッ
ルシフェル…ッ

かほ…
ふあぁあ

ああ…あ…
いやあッ…これ以上…
されたら…カラダがあ…ッ…!!
見ないで…ルシフェル…
お願い…見ないでえええッ



あま

あま

あまあまあま

あまあまあま

あまあまあま

ククッ...
本気の絶頂をして
意識を手放したか...

どうだルシフォル?
今どんな気持ちだ?

...何とでも言え。
必ず
イーノックは
返してもらう。

そう...
どんな手を
使ってもな。

だから
イーノック...
待っていてくれ。
必ず助けてやるからな。

ん...んまう...

あ...あ...

「雌牛陥落」
2022/05/08発行
犬福 しろうき...

sntk_snz@yahoo.co.jp
Twitter:s11226
PixivID:1011213

印刷:PICO様



EL Shaddai
FANBOOK

Tentacle * Enoch ♀

DAIFUKU
Presents

